

SSRI・SSRA

SS 情報

情報モラル&情報セキュリティ Quiz 解説

1. スマホを操作しながら自転車に乗っていると、法律違反になる。
解答 ○
解説 道路交通法では、自転車であってもスマホを操作しながら運転することは違反とされている。
2. 仕事等でパソコンを利用するという目的であれば、マウス操作程度であれば長時間継続しても特に問題は発生しない。
解答 ×
解説 目的に関わらず、パソコンの長時間使用は、目の疲労につながるの適度な休息が必要です。
3. 懸賞サイトやメルマガで収集されたメールアドレスが詐欺業者に渡ることもあるので、ネット上の個人情報の登録は必要最低限度にすべきである。
解答 ○
解説 悪意を持った人は、メールアドレスをはじめとした個人情報を収集しています。個人情報の登録・提供は必要最低限度にしましょう。
4. 「C 信用金庫の財務体質が悪化している」というニュースをひとつの Web サイトだけではなく、ほかの Web サイトでも確認するべきである。
解答 ○
解説 複数の情報発信源（メディア）を確認することは、信ぴょう性を確認するために有効な手段です。
5. 信頼関係のある相手とのネット上のコミュニケーションにおいても、悪意を持つ者が「なりすまし」をしている可能性があるのを常に頭に入れておくべきである。
解答 ○
解説 LINE のなりすまし詐欺が発生したこともあります。相手のメッセージに違和感を覚えたら、本人確認することが大切です。
6. 信頼関係のある相手から送られたメッセージや添付ファイルは間違いなく安全であるので、特に気を付ける必要はない。
解答 ×
解説 悪意を持つ者がなりすまししているケースや、相手が間違いなく本人でも問題のあるファイルや URL と知らずに転送してくるケースもあります。
7. Twitter では、普段ごく親しい友人としか投稿のやり取りをしないように錯覚しがちだが、本当は世界中のユーザーから見られるものであることを常に心がけておくべきである。
解答 ○
解説 Twitter などの SNS の投稿は世界中のユーザーから見られる状態であることを意識すべきである。
8. Twitter をニックネームで利用していても、Twitter 社に問い合わせれば本名を教えてくれるので、本名は必ずバレることを自覚しておくべきである。
解答 ×
解説 Twitter 社は、実名を問い合わせても回答しません。しかし、匿名の情報発信であっても、それを不愉快と思うユーザーによって、ブログや Twitter などの過去情報を洗いざらい調べ上げられ、実名や個人情報をさらされるという事件が発生しています。
9. 炎上に気づいたら、すぐに該当のツイートを削除し、新しいツイートで謝罪すべきである。
解答 ○
解説 きちんとした対応をとることが、炎上を最低限に抑える唯一の方法です。
10. きれいなお花畑があったので、中に入って撮影してインスタグラムに投稿した。「立入禁止」とあったが、花を踏まなように気を付けて入ったので問題はない。
解答 ×
解説 「立入禁止」と書かれている場所への侵入はルール違反である。どんなに気を付けていても入ってはいけません。
11. 珍しいラベルの瓶入りジュースを見つけた。それを購入し、自宅に帰ってから撮影してインスタグラムに投稿した。
解答 ○
解説 自分で購入した商品を自宅で撮影することは問題はありません。なお、撮影したあとは、美味しくいただくことがマナーです。
12. 量が多いことが有名なラーメン店で、インスタグラムを投稿するために、食べきれないことを承知で超大盛りを頼んだ。半分以上残したが、お金をきちんと払っているので問題ない。
解答 ×
解説 いくらお金を払うとはいえ、残すことを前提で大量の食品を注文することはマナー違反にあたります。
13. 友人同士の信頼関係を崩さないために、相手からのメッセージはできるだけ早く返信すべきである。
解答 ×
解説 常に急いで返信をしようとする、生活に支障がでたり、コミュニケーションが重荷になったりすることがありますので、自分のペースで返信することをあらかじめ相手に説明しておくとういでしょう。

14. 友人間のメッセージ機能の利用にはトラブルが多いので、本当に親しい友人とはメッセージ機能を利用しないようにする。
 解答 ×
 解説 本当に親しい相手であれば、メッセージ機能の使い方を相手ときちんと話し合ってから利用するとよいでしょう。
15. メッセージ機能の利用においては、お互いがそれぞれのペースで使えるように配慮しながら使っていくとトラブルが起りにくい。
 解答 ○
 解説 メッセージ機能に振り回せれてしまうと、本来楽しいはずのコミュニケーションが重荷になる可能性がありますので、お互いに配慮が必要です。
16. 書店で本の中身を撮影する「デジタル万引き」は窃盗罪として罰せられる。
 解答 ×
 解説 「デジタル万引き」は法律に触れる行為ではありませんが、一般的に書店では、ルールとして禁止されていることが多いです。
17. 授業の講義の様子を撮影することは著作権の侵害にあたり、絶対にしてはいけない。
 解答 ×
 解説 私的利用の範囲内での撮影であれば著作権侵害に当たりませんので、学校の先生の許可があれば撮影しても構いません。
18. 講義の音声録音するだけであれば、誰の許可も必要ない。
 解答 ×
 解説 撮影と同様に、講義の音声も私的利用の範囲内での録音できますが、学校の先生の許可を得ましょう。
19. SNS のチェックイン機能を利用して友人と一緒にいるところを投稿したが、友人に投稿して良いか確認すべきである。
 解答 ○
 解説 一緒にいる人の中には、その場にいることを知られたくないと思っている人もいますので、一緒にいることを投稿する際には確認が必要です。
20. スマホのパスワードは忘れてしまっはいけないので、初期設定のままにしておく方がよい。
 解答 ×
 解説 スマホの初期設定のパスワードは、購入後すぐに変更しましょう。
21. スマホのメールや画像を削除するときには、その機能の削除機能を使えば復元できないので安心である。
 解答 ×
 解説 機能の一般的な削除機能だけでは、データは完全には消去されないこともあります。
22. 人気漫画の登場キャラクターに似せて描いたクラスメイトのイラストをクラスTシャツに印刷してもよい。
 解答 ×
 解説 元のキャラクターとの類似性が認められる場合、つまり元ネタがわかるようなデザインの場合は権利保有者からの許諾が必要となります。
23. 個人のブログとはいえ、他人が作成したイラストや撮影した画像を利用したところ問題があった。ブログ本文であれば、どれだけ転載しても問題はない。
 解答 ×
 解説 画像だけではなく、ブログの本文にも著作権は発生しますので、無断転載は違法です。ただし、適切なルールを守った引用は可能です。
24. ニュース番組であれば、ネットに投稿してもよい。
 解答 ×
 解説 ニュース番組にも、通常、製作者側の思想や表現が入っており、著作物とされますので、著作権法で保護されます。
25. 音楽CDを自分と家族のためにバックアップ用として複製した。
 解答 ○
 解説 CDやDVDの家族間の貸し借りやバックアップ用の複製製作などは、私的利用の範囲に入ります。ただしコピープロテクトがかかっているものを解除することは違法になります。
26. コピペしてレポートを提出したらバレてしまった。今回は運が悪かった。
 解答 ×
 解説 インターネットからコピペを見分けるソフトウェアが存在しますので、簡単にコピペを見分けることができます。
27. 引用する文章は変更しないことが原則だが、誤字・脱字の訂正は問題ない。
 解答 ×
 解説 誤字・脱字を含めて、引用先の文章を改編してはいけません。
28. 引用先の文章は誰の文章であるか、著作者名だけ記載すればよい。
 解答 ×
 解説 著作者名のほか、書籍名など、読者が引用先の文章を特定できる情報を記載する必要があります。

ケータイ社会と情報モラル Vol.2 ワークシート

【1】 スマートフォンや SNS を使う上で、今まで困ったことはありますか。また、使い方で気をつけていることはありますか。

困ったこと	
気をつけていること	

【2】 SNSを利用することで遭遇する可能性のあるトラブルについて説明した文章です。空欄を埋めて文章を完成させましょう。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は空間や世代を超えて交流する楽しさがある反面、一度もあったことがない人と仲良くなる可能性があります。その中には、をもって近づいてくる性犯罪者などもいる可能性があります。被害に遭わないためには、名前や電話番号、メールアドレスだけでなく、SNSのなどもむやみに公開しないことが大切です。また、ネット上で知り合った見ず知らずの人と会うことは、とても危険なことであることを認識しなければなりません。

また、SNSでは悪ふざけの写真や記事に基づいたも問題になっています。法律やルールを犯した問題行動をSNSで公開することは、公共の場に発信することと認識する必要があります。

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

【3】 授業を通して学んだことや、今後どのようにスマートフォンを利用したいか、SNSに関わっていきたいかを記入しなさい。

1年 組 番 名前

ケータイ社会と情報モラル Vol.2 ワークシート

解答

【2】 SNSを利用することで遭遇する可能性のあるトラブルについて説明した文章です。空欄を埋めて文章を完成させましょう。

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は空間や世代を超えて交流する楽しさがある反面、一度もあったことがない人と仲良くなる可能性があります。その中には、**悪意**をもって近づいてくる性犯罪者などもいる可能性があります。被害に遭わないためには、名前や電話番号、メールアドレスだけでなく、SNSの**ID**などもむやみに公開しないことが大切です。また、ネット上で知り合った見ず知らずの人と会うことは、とても危険なことを認識しなければなりません。

また、SNSでは悪ふざけの写真や記事に基づいた**炎上**も問題になっています。法律やルールを犯した問題行動をSNSで公開することは、公共の場に発信することと認識する必要があります。

(1)	悪意	(2)	ID	(3)	炎上
-----	----	-----	----	-----	----

番号 名前

検索実習 ワークシート

1年 組 番 氏名 _____

1 料理について、次のようなレシピが掲載されたページを検索したい。正しいものを①～③のうちから選べ。

- (1) 魚料理は掲載されているが、肉料理は掲載されていない
- (2) 魚料理と肉料理、両方が掲載されたもの
- (3) 魚料理か肉料理、少なくとも一方が掲載されたもの

- ① 魚料理 AND 肉料理 ② 魚料理 or 肉料理
- ③ 魚料理 AND (NOT 肉料理)

2 次のような条件の検索をする場合に適切なキーワードを記入せよ。また実際に検索した際の検索結果数と、その際に使った検索エンジン、検索オプションも記述すること。

(検索結果が 10,000 件を下回るようにすること)

	検索数	キーワード、検索エンジン、オプション等
1ドル何円か調べる	件	
京都駅周辺の地図を見たい。	件	

「系統別学科研究」について

I なぜ今系統別学科研究なの

現在、大学や専門学校分野・学部・学科の名称は非常に多様化し、その中から入りたい分野・学部・学科に進学するためには、複数の学校の違いを多角的、批判的に比較検討する必要があります。第1学年のうちに、じっくりと大学別に特徴や分野・学部・学科の講義内容などの違いを調査・研究して、自分達が学びたい大学について考えて下さい。それがコース選択、ひいては、大学選びにつながります。

II どのようなステップで研究を進めていくのか？

Step 1 : 関心のある分野・学部・学科を絞り込もう！（研究する分野・学部・学科の確定）

- 1) 各班ごとに抽選で選ばれた系統から調査研究する分野・学部・学科を決定しましょう。
抽選はこの授業の終わりに行います。
注) 各班のメンバーおよび調査する系統は別紙参照。
様々な分野・学部・学科がありますので、各班で関心があり、研究したいと考えている学科まで絞り込んでください。
例えば) 文学部 → 「英文学科」、「国文学科」、「史学科」まで絞り込む。
理学部 → 「数学科」、「物理学科」、「科学科」まで絞り込む。
- 2) 各班で、班長を決定し、「調査研究する分野・学部・学科」に必要事項を記入して系統別学科研究①の授業時に提出してください。
- 3) 各班で、どのように調査・研究していくのかを考えてください。

Step 2 : この学科を徹底的に調べよう！（学科研究）

調査研究する学科について、徹底的に調べてください。「系統別学科研究プレゼンテーション」の作成にあたり、どのような方法で調べ、どのようにまとめるかは各班にまかせます。

また、この研究はクラス内で発表してもらいますので、他の人への学科案内となるような創意工夫も考えてください。せっかくの研究ですので、互いの調査結果を発表して情報の共有化が図れる内容にするようにしてください。各班で十分に話し合い、協力して、調査研究を行ってください。

※ 調査方法として

1. 進路指導室、学校図書館、地域の図書館などの書籍を利用する。
2. インターネットなどを利用する。学校のコンピュータを利用したい時は、教員に相談する。
3. 各自で職場見学、オープンキャンパスなどに参加する。この際は事前に担任に知らせること。
などが考えられます。

Step 3 : 「系統別学科研究プレゼンテーション」を作成しよう！（資料作成）

- 1) 『SS 情報』の授業（5時間）を使って、PowerPoint を用いて「系統別学科研究プレゼンテーション」を作成してください。具体的な作成方法については、【Ⅲ発表プレゼンテーションについて】を参考にしてください。
- 2) 発表用原稿等を考え、発表の準備をしてください。具体的な発表方法については、Step 4 及び Step 5 をみてください。

Step 4 : 中間発表しよう！（班内発表）

- 1) 3～4班を1グループとします。（担当者が任意に分けます。）
- 2) 各班は、グループ内で調べた学科について7分程度で発表してください。
- 3) 「相互評価票」を記入し、お互いに評価し、高め合ひましょう。具体的な評価方法については、【Ⅳ評価について】を参考にしてください。
- 4) 「系統別学科研究プレゼンテーション」を手直し、クラス発表の準備をしましょう。

情報を人に伝えることは、社会に生きるための重要な技法です。お互いに評価することによって、自分の足りないことに気付き、人のよい所や別の考え方を学ぶことができます。

Step 5 : クラス内で発表する。（クラス研究発表）

- 1) 各班は、クラス全員の前で、「系統別学科研究プレゼンテーション」を使って、班で調べた学科について、発表時間7分＋質疑応答2分で発表してください。
- 2) クラス発表では相互評価はしませんが、積極的に質問してください。
- 3) 「自己評価表（ICE評価表）」を記入して、研究を振り返りましょう。

大勢の前で発表することは、大変ためになります。また、他のグループの発表を聴き、質疑応答を通して、より多くの情報をクラスで共有しましょう。

Ⅲ 発表用プレゼンテーションについて

- 1) PowerPointを用いて、発表の際に使用するプレゼンテーションを作成してください。
- 2) プレゼンテーションの作成に際しては、『基礎からはじめる情報リテラシー』などを参考にしてください。
- 3) プレゼンテーションの構成は次の通りとします。
 - ① 学科の特徴を説明する。（取得可能な資格や検定、卒業後進路などを含めること）
 - ② その学科がある主な大学を示す。
 - ③ 上記の大学から3校を選択して、特徴や講義内容などの違いなどを比較する。
 - ④ 実際に大学へ進学する際に考える内容を比較する。
 - ⑤ 比較内容をもとに、どのようにしてして、大学選択をしていくべきかをまとめる。
- 4) 他者へのプレゼンテーションを意識し、表現やレイアウト等にも創意工夫を凝らしてください。
 - ① プレゼンテーションの画面は、表題を含んで8枚以上とすること。
 - ② 表題には、調べた学部・学科名及び班員の組、番、氏名を入れること。
 - ③ 表またはSmartArtを1つ以上入れること。
 - ④ グラフを1つ以上入れること。

ただし、表またはグラフはExcelで作成したものを貼り付け方が楽である。
 - ⑤ アニメーションを1箇所以上入れること。ただし、多く入れすぎて見にくくならないように十分に注意すること。また、効果的なアニメーションになるようにすること。
- 5) プレゼンテーションのファイルは、各クラスのフォルダ内の「系統別学科研究」のフォルダ内の「○班」のフォルダに保存してください。完成しなくても途中であっても自由に保存してかまいません。

6) 完成したら、各クラスのフォルダ内の「系統別学科研究」のフォルダ内の「提出」に保存してください。ファイル名には、学部学科・班長のクラス・番号・氏名を付けてください。

☆ 例 ファイル名 : 数学科 799 長岡 一郎

7) 発表時間は7分程度とします。発表の際の原稿等を作成しておいてください。

8) 質問が出た際に答えられるように準備もしておいてください。

Ⅳ 評価について

1) 本人による「自己評価票（ICE評価表）」と教員による評価を元に決定する。

2) 評価の観点

- ① 目的にかなった調査が行われているか。
- ② 大学別にしっかりと比較できているか。
- ③ 調査した学部・学科について、自分だけでなく他人に対しても分かり易いまとめになっているか。
- ④ 調査結果をもとに、大学選択に生かしていく観点が明確かどうか。
- ④ 表または SmartArt、グラフを的確に使用し、効果的に活用できているか。
- ⑤ アニメーションを効果的に使うなど、伝えるプレゼンテーションが作成されているか。

⑥ その他

1) 提出期限について

「系統別学科研究プレゼンテーション」

: 発表日の前日の放課後までに各クラスの「系統別学科研究」のフォルダ内の「提出」のフォルダ内に保存すること。

2) 発表について

- ① 中間発表：10班を3グループに分けて、グループ内で発表する。
(グループ内で、相互評価し合い、クラスに向けての手直しの材料にする)
- ② クラス発表：系統別学科研究ⅠまたはⅡの授業ですべての班がクラス発表する。
(発表順は当日まで知らされない)

USBメモリーやメモリーカードの持ち込みについての注意事項

USBメモリ自体にきちんとウイルスチェックをしてください。

万が一、ウイルスが発見された場合は、使用を中止し、速やかに担当者に連絡をしてください。

また、USBメモリをコンピュータから取り外す際には「ハードウェアの安全な取り出し」を行ってから、取り外してください。

USBメモリを使う場合にはこんなことに注意しよう!



職業 & 進学に関する ホームページ & 書籍など

1. ホームページ

(1) **各大学のホームページ**

各大学のホームページには、幅広く大学の情報が載っています。

(2) **進学応援サイト Benesse マナビジョン** <http://manabi.benesse.ne.jp/>

高校生、保護者、高校の先生をサポートするコミュニティ。入試情報、大学情報、おススメ勉強法、職業・学問情報などメニュー豊富。

(3) **e進路** <http://www.e-shinro.com/index.html>

大学だけでなく、職業、専門学校や資格などについて、幅広く扱っている。

(4) **高校ネット** <http://www.koukou.net/>

教育関連、進路関連だけではなく、高校生活全般に関するさまざまな情報を得ることができる。

2. 書籍など

(1) **各大学入学案内・パンフレット**

各大学の情報が受験者や入学者向けに向けに幅広く紹介されています。必要ならば、個人で取り寄せてみましょう。各大学のホームページ以上に詳細に情報が載っています。

(2) **螢雪時代** 旺文社

大学情報などを調べるには、昔からこの雑誌。ただし、現1年生は、2019年度・平成31年度受験(2019年 平成31年1月～3月)であることに気をつける。社会・理科の科目選択に注意する。

(3) **進路指導室・図書館**

進路指導室や図書館には、上記の本や「赤本」(大学別の情報・過去問題集、教学社)、大学などのパンフレット・書籍など、多くそろっているの、大いに活用しよう。

(4) **新聞**

新聞には、仕事、職業、大学、教育、生活などの記事も多いので、毎日、短時間でも目を通し、興味深い記事があったらじっくり読もう。

3. その他

上記以外にも進路情報を取り扱う web サイトや書籍はありますので、活用してかまいません。

※ 資料からデータを引用する際には、必ず引用元をはっきりさせること

SSRA・SSRI SS情報「系統別学科研究」中間発表会 相互評価用（ループリック）

中間発表の際に、「相互評価表」（ループリック）を参考にして研究発表を評価してください。
 この「相互評価表」（ループリック）は他の人の評価をすだけではなく、自分が研究するときの指針として活用することも期待して作成しています。
 中間発表ではこのループリックに基づいて評価し、当日配布される「相互評価表」に評価や感想を記入してください。また、記入後に発表者に渡してください。

評価項目	1	2	3	4	5
学科の特徴	学科の特徴が説明されていない。	どのようなことを学ぶ学科なのか何となくわかる。	学科の特徴はわかるが具体性に欠ける。	その学科で具体的にどのようなことが学べるのかわかる。	取得可能な資格や検定、卒業後の進路などより詳しく特徴が説明されている。
比較している内容	同じような大学を選んでいるので比較している内容が不明である。	比較している内容はよいが、大学の違いがわからない。（選んだ大学がよくない）	比較した内容によって大学の違いがよくわかる。	表やグラフなどを活用して比較する内容に沿って大学の違いをわかりやすく説明している。	表やグラフなどに工夫がみられ、大学別に違いがはっきりとわかる。
表（SmartArt）の活用	表（SmartArt）がない。	表（SmartArt）を使っているが不十分である。	比較している内容に応じて、表（SmartArt）で表している。	表（SmartArt）を活用して大学の違いをわかりやすく説明している。	表（SmartArt）の活用が工夫がみられ、比較している内容や大学の違いがよくわかる。
グラフの活用	グラフがない。	グラフを使っているが不十分である。	比較している内容に応じて、グラフで表している。	グラフを活用して大学の違いをわかりやすく説明している。	グラフの活用に工夫がみられ、比較している内容や大学の違いがよくわかる。
スライドの構成	スライドの枚数も少なくアニメーションも効果的でない。	スライドに工夫がみられない。文字が多く、わかりにくい。	伝えたいことを簡潔にまとめたスライドの構成になっている。	スライドのデザインに工夫がみられ、聞き手が理解しやすいように構成されている。	スライドのデザインに工夫がみられ、聞き手が理解しやすいように構成されている。
まとめの仕方	まとめがない。	まとめが文章の羅列である。	表（SmartArt）などを活用してまとめている。	表（SmartArt）などを活用して、大学選択の参考になる内容がよみとれる。	表（SmartArt）などを活用して、大学の違いを意識し、大学選択に役立つまとめになっている。

(別紙) 普通科

1. グループ分け

グループ	名簿				グループ	名簿				
1	1	2	3	4	6	21	22	27	28	
2	5	6	7	8	7	23	24	25	26	
3	9	10	11	12	8	29	30	31	32	
4	13	14	15	16	9	33	34	39	40	41
5	17	18	19	20	10	35	36	37	38	

2. 系統

NO.	系統	主な学科等	希望順位
1	文学系	国文学科, 英文学科, 史学科, 哲学科, 心理学科 など	
2	社会・国際学系	社会学科、社会福祉学科、観光学科、 人間社会学科、国際社会学科 など	
3	法律・政治学系	法学科、政治学科 など	
4	経済・経営系	経済学科、経営学科、商学科、 会計学科 など	
5	教育学系	学校教育教員養成課程、 児童教育学科、養護教員養成課程 など	
6	理学系	数学科、物理学科、化学科、 生物学科、地学科 など	
7	工学系	機械工学科、電気電子工学科、 土木学科、情報工学科 など	
8	農学・水産系	農学科、獣医学科、畜産学科、 水産学科、林業学科 など	
9	医療系	医学部、歯学部、薬学部、 看護学科、放射線学科 など	
10	生活科学系	家政学科、食物・栄養学科、 被服学科、管理栄養学科 など	

(別紙) 理数科

1. グループ分け

グループ	名簿				グループ	名簿			
1	1	2	3	4	6	21	22	27	28
2	5	6	7	8	7	23	24	25	26
3	9	10	11	12	8	29	30	31	32
4	13	14	15	16	9	33	34	39	40
5	17	18	19	20	10	35	36	37	38

2. 系統

NO.	系統	主な学科等	希望順位
1	理学系①	数学科、物理学科、化学科、 生物学科、地学科 など	
2	理学系②	数学科、物理学科、化学科、 生物学科、地学科 など	
3	工学系①	機械工学科、電気電子工学科、 土木学科、情報工学科 など	
4	工学系②	機械工学科、電気電子工学科、 土木学科、情報工学科 など	
5	医学系 A	医学科 など	
6	医学系 B	医学科 など	
7	歯薬系	歯学部、薬学部 など	
8	医療系 (医歯薬系を除く)	看護学科、理学療法学科、 作業療法学科、臨床検査学科 など	
9	農学・水産系	農学科、獣医学科、畜産学科、 水産学科、林業学科 など	
10	教育学系	学校教育教員養成課程、 児童教育学科、養護教員養成課程 など	

※ 工学系と理学系は①と②のグループが別の学科になるように調整すること。

※ 医学系は A を東日本、B を西日本とすること。

SS情報 系統別学科研究 発表について

クラス発表について

1. クラス発表は、各教室で行います。
注)発表の日程はクラスで異なるので「プレゼンテーション発表日程」で確認しておくこと。
3. 発表時間7分＋質問時間2分以内とします。発表の際の原稿等を作成しておいてください。
注)発表時間については、
6分30秒でベル1回、7分でベル2回、7分30秒で強制終了とします。
4. 発表後に質問の時間を設けますので、質問が出た際に答えられるように準備しておいてください。
5. 発表の順番は抽選とし、当日発表します。

自己評価票(ICE評価表)について

相互評価票の評価を踏まえて、「自己評価票(ICE評価表)」を記入して、クラス発表の当日に教科担当に提出してください。

この「自己評価票」を成績と基本とします。

【注意事項】

発表を見ている先生方も、「自己評価票(ICE評価表)」を用いて、同様な評価をします。

したがって、自己評価と先生方の評価が近似することが望ましいです。

「系統別学科研究」の提出について

**最終締切:系統別学科研究発表Ⅰの前日
<17:00まで>**

中間発表を経てプレゼンテーションを手直した後に、最終締切までに各クラスの「系統別学科研究」のフォルダ内の「提出」のフォルダに提出(保存)してください。

ただし、ファイル名は、分野・班長のクラス・名簿番号・氏名を付けてください。

☆例 ファイル名：数学科799長岡 一郎

注意)ファイル名が間違っている場合は提出とはみなしません。

発表のポイント

- 1 姿勢
- 2 声の大きさと強弱
- 3 話すスピード
- 4 リズム
- 5 アイコンタクト
- 6 身振り手振り
- 7 表情

1 姿勢

姿勢の悪さは、「やる気がない」「だらしない」といった発表者への印象の悪さにつながる。立ち姿がきちんとしていれば相手に信頼感を与えることができる。背筋を伸ばして胸を張り、少しだけあごを引いて立つように心がけよう。

2 声の大きさと強弱

あまりに小さな声で話すと自信がないように相手に伝わってしまう。しかし、最初から最後まで大きな声で話してしまうと、今度は相手に違和感を与えてしまうことになる。会場の広さに応じた適度な声の大きさを意識し、大切な箇所では声を大きくするなどの強弱を付けて話すことよい。

3 話すスピード

あまりゆっくり過ぎるとスピードは、相手が退屈してしまう。しかし、あまりに速すぎると相手に内容が伝わらないだけでなく、落ち着きがないといった印象を与えてしまうことになる。普段の自分の話すスピードを確認し、話す速度を調整しよう。一般的には緊張からスピードが上がる傾向があるので、ほとんどの場合「ややゆっくり」を意識して話せばよい。

4 リズム

変化のない単調な話し方では、相手は飽きてしまい、最後まで話を聞いてもらうことができない。「テンポよく」「明るく」「メリハリのある」話し方をしよう。また、「間」も大切である。熱が入ってしまい、間を取らずに話を続けてしまうと、重要なポイントが目立たなくなり、伝えられないプレゼンテーションになっています。大切な部分で、ひと呼吸おけば相手の注目を集めることができる。リズムを作って話すことを心がけよう。

5 アイコンタクト

「原稿ばかり見ている」「スライドばかり見ている」といった発表者のプレゼンテーションは相手の心に響かない。聴衆一人ひとりと視線を合わせるようにすると、相手は「自分に対して話してくれている」という印象をもつ、前を向いて堂々と話し、積極的にアイコンタクトを取るよう心がけよう。

6 身振り手振り

発表者が全く動かず話しているだけでは、相手は飽きてしまう。身振りや手振りなどの動きがあると、相手に熱意をもってプレゼンテーションをしていることが伝わる。「壇上を動く」「スライドの項目を手で示す」「手を上げる」などのアクションを加えてみよう。

7 表情

聴衆は、発表者の表情からも情報を受け取っている。暗い表情であれば「深刻な話」「悪い情報」といった認識をしてしまう。「笑顔」または「自然と穏やかな表情」になるよう心がけよう。

緊張してしまって、どうしても表情が硬くなったときには口角を上げるとよい。笑顔に近い表情を作ることができる。相手に安心感・信頼感をもたらす表情を意識しよう。

自己評価票（ICE評価表）

組 番 氏名

分野・学部・学科

目的：これまでの「系統別学科研究」の状況を観点別に自己評価をする。

方法：① 以下の5つの観点について、各自で評価してください。

② 今後、高校生活にどのように生かしていきたいか、下の「コメント」欄に記入してください。

観 点	基礎事項 Ideas	つながり Connections	応用 Extensions
学科の特徴	学科の特徴を理解されていない。	学科の特徴を理解し、どのようなことを学ぶことができるかわかっている。	取得可能な資格や検定、卒業後の進路まで考えて、学科の特徴を理解している。
	1	2 ・ 3	4 ・ 5
比較する内容 と大学の選択	比較する内容や大学の選択が不十分である。	比較する内容を意識して大学を選択できている。	比較する内容を絞り込み、具体的な違いがわかりやすい大学を選択できている。
	1	2 ・ 3	4 ・ 5
プレゼンテーションの作成	表（SmartArt）やグラフの活用が不明確である。	伝えたいことを簡潔にまとめたスライドを工夫して作成している。	相手を理解しやすくようにスライドのデザインを工夫している。
	2	4 ・ 6	8 ・ 10
ま と め	大学選択の参考になるまとめになっていない。	大学選択の参考になるまとめになっている。	具体的に大学を選択をする際に役立つ比較すべき内容がわかるまとめになっている。
	1	2 ・ 3	4 ・ 5
発 表	ただ発表原稿を読んでいる。また、質問にもほとんど答えられない。	発表原稿を見ないで、聞き手の方を見て発表している。また、質問にも的確に答えている。	聞き手の方を見て、楽に理解してもらえるように発表の方法を工夫している。また、質問事項を考察し、感謝の気持ちをもって明確に質問に答えている。
	2	4 ・ 6	8 ・ 10

コメント	総評
	/ 35